

# 目次

## [概要](#)

### [メッセージ ID \( MID \) の概要](#)

### [インジェクション接続 ID \( ICID \) の概要](#)

### [配信接続 ID \( DCID \) の概要](#)

### [関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) またはセキュリティ メッセージ アプライアンス ( SMA ) 上のテキスト メール ログと関連するメッセージ ID、インジェクション接続 ID、および配信 ID に関して記録される情報について説明します。

## メッセージ ID ( MID ) の概要

メッセージ ID ( MID ) は、ESA によって特定のメッセージに割り当てられる一意の識別子です。MID は、シスコ アプライアンスで受信されたすべてのメッセージに関連付けられ、メール ログで追跡できます。

## インジェクション接続 ID ( ICID ) の概要

インジェクション接続 ID ( ICID ) は、1 ~ 何千もの個別のメッセージが送信されるシステムへの個別の SMTP 接続の数値識別子です。

## 配信接続 ID ( DCID ) の概要

配信接続 ID ( DCID ) は、一部または全部の受信者 ID ( RID ) が 1 つのメッセージで伝送される 1 ~ 何千ものメッセージを配信するための別のサーバへの個別の SMTP 接続の数値識別子です。

特定の電子メール メッセージの破棄を検出するのに最適なログのタイプは、テキスト メール ログ ( mail\_logs ) です。このログには、電子メールの受信、電子メールの配信、およびバウンスの詳細が記録されます。1 分ごとのステータス情報もメール ログに書き込まれます。これらのログは、特定のメッセージの配信を調査したり、システム パフォーマンスを分析したりするのに役立つ情報源になります。

ESA 経由で処理され、mail\_logs に書き込まれるメッセージの例 :

提示した mail\_logs の例の詳細の確認 :

1. システムに対する新しい接続が開始され、インジェクション ID ( ICID ) 「5」が割り当てられます。この接続は、管理 IP インターフェイスで受信され、10.1.1.209 にあるリモート ホストが

ら開始されています。

2. クライアントから MAIL FROM コマンドが発行された後に、メッセージ ID ( MID ) 「6」がメッセージに割り当てられます。
3. 送信者アドレスが識別され、受け入れられます。
4. 受信者が特定され、受信者 ID ( RID ) 「0」が割り当てられます。
5. MID 5 が受け入れられ、ディスクに書き込まれ、確認応答されました。
6. 受信が成功し、受信接続が終了しました。
7. 次に、メッセージ配信プロセスが開始されます。それに 192.168.42.42 から 10.5.3.25 への配信接続 ID ( DCID ) 「8」が割り当てられます。
8. RID 「0」へのメッセージ配信が開始されます。
9. RID 「0」への MID 6 の配信に成功します。
10. 配信接続が終了しました。

ログの特徴に関する詳細については、『AsyncOS ユーザガイド』を参照してください。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [ESA メッセージ破棄の判別](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)